

## 人工股関節全置換術後患者における身体機能回復への関連因子の検討

○人工股関節全置換術（以下，THA：Total Hip Arthroplasty）を施行された患者様の手術前の身体機能が手術後の回復にどのように影響しているかを調査しました。

○対象：49名，平均年齢  $67.4 \pm 9.6$ （46～85）歳

○調査内容：年齢，日本整形外科学会股関節判定基準（以下，JOA score），痛み，脚の長さ，関節可動域，筋力，歩行速度

○結果

今回の調査から，年齢や手術前の関節可動域，JOA score の得点などが手術後の機能回復に影響している可能性があるとわかりました．中でも，手術前の日常生活動作能力が手術後の回復を予測する指標として有用なものであることがわかりました．具体的には，以下の5つの動作が関連しています．

- ①椅子などに腰掛ける
- ②立ち仕事
- ③しゃがみ込む，立ち上がる
- ④階段の昇り降り
- ⑤車，バスの乗り降り



つまり，このような動作にどの程度不便を感じているかによって手術後の回復度合いに差がでてくると言えます．

今回の結果では，上記の動作を長時間行えなかったり，手すりなどの支えを必要とする患者様は，手術後の回復が遅れる傾向にあることがわかりました．

上記のような動作に限らず，日常生活の中で不便を感じるが多くなるにつれて，関節の動きづらさや筋力の低下が生じているといえます．今回の調査では，具体的にどのような機能の低下が動作能力に影響しているのかは確認できませんでした．しかし，どこか一部の機能が良くても回復が早いわけではありません．極端に関節の動きが硬くなったり筋力が落ちたりしないように心がけ，日々の生活の中に不便を生じないようにすることが大切です．

猫山宮尾病院 リハビリテーション部 内山陽子

平成 23 年 7 月 第 24 回日本臨床整形外科学会 参加